

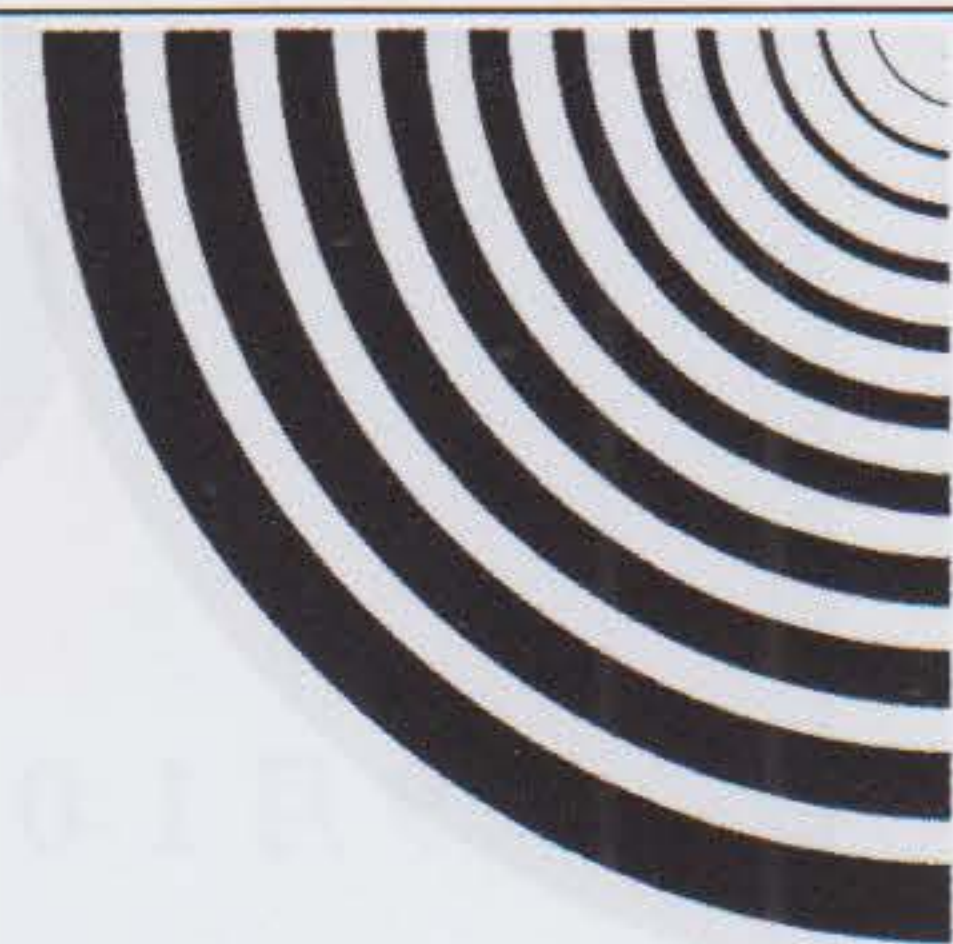


鶴間地区社協だより

発行者 大和市鶴間地区社会福祉協議会

編集 鶴間地区社会福祉協議会 総務部会

事務所 大和市鶴間 2-12-35 コミュニティセンター鶴間会館内 電話 046-276-3736



「親と子の野外ふれあい体験」開催

企画部会
部会長 古川 義範

この3年間コロナ感染症のよりあらゆる催しものが中止せざるを得ませんでした。

7月15日(土) 泉の森公園にて「親と子の野外ふれあい体験」を開催、久しぶりに開催される催し物に対して多少の期間が空き、ためらう面もありましたが、参加された親子の元気な姿を拝見すると、正直ホッとした感じが致しました。

自然豊かな森の中、おいしい空気を吸いながら元気はつらつとしたお子さんの姿やそれを見守るお母さんたちの和やかな視線を、久しぶりに見る事が出来、感動しました。スタッフの誘導で、各々がコースに分かれ、森の中を目的に沿ってゆっくり進み、日頃目に留まらない植物に足を止めて観察したり、一緒に行動している仲間たちとも和気あいあいの会話の中で自然に浮かぶ笑みは、また日常とは違った味わいがありました。



「親と子の野外ふれあい体験」に参加して

大和小学校 三年二組
石河 蒼大

ぼくは、ママと二人で参加しました。コマ地図を見るのは、はじめてだったのでさいしょは難しかったです。ミッションの決められた自然の物をとってくるのがたのしかったです。

ぼくはよく泉の森に行きますが、鳥の羽がたくさん落ちているのは知りませんでした。



とちゅうのクイズや竹とんぼや、箱に手を入れて中の物をあてるゲームがおもしろかったです。

たのしんでゆっくりゴールしたのに三位と言われたときはびっくりしました。また来年も参加したいです。



敬老の集いを終えて

ボランティア部会
部会長 古山 みどり

9月10日(日)台風一過の秋晴れの中、コミュニティセンター西鶴間会館にて4年ぶりに開催されました。

市の社会福祉協議会会長・サンホーム鶴間の理事長にご臨席いただく中、100名を超える地域の高齢者とお手伝いの役員みんなで、楽しいひと時を過ごすことができました。

懐メロ一座による昭和懐かしのなりきり歌謡ショー・大所帯の圧巻フラダンス・不思議な不思議なマジックショー・楽器演奏により大勢で歌をうたい、本格的な漫談・落語でたくさん笑いました。時間はあっという間に過ぎて、帰りに手土産をお渡しし終了となりました。

お帰りの際にほとんどの方が「とても楽しかった」「来年もぜひ参加したい」とお声を掛けていただき開催して良かったと胸が熱くなりました。そして参加していただいた芸人の方々からも感謝の連絡を頂き、まだまだコロナの収束にはならない中ですが、予防を心がけてこれからも続けて行ければという思いを持ちました。



ボランティア募集中

初めてでも大丈夫、一緒に活動してみませんか

一緒に活動して下さるボランティアのご連絡をお待ちしています。

青木 ☎ 261-0577

古山 ☎ 404-2661

4年ぶりの対面式総会開催

鶴間地区社会福祉協議会
会長 青木 恵美子

鶴間地区社会福祉協議会の総会が5月21日に4年ぶりに対面式総会を開催する運びとなりました。総会開催にあたりましては、出席者各位の多大なご支援があつてのことと存じます。改めて感謝申し上げます。

今後とも当方の事業に引き続きご理解ご支援いただければ幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。

編集後記に代えて

ジィちゃんの戯言

アッシが子供の頃は、「さいたさいた」といえば「チューリップの花」でしたが、3年前の「さいたさいた」は新型コロナ感染者数でしたね。それも今年の五月に感染症分類が5類に引き下げられました。これは感染強度が以前より軽度になったと判断されただけで、コロナ感染の危険性が少なくなったわけではありません。アッシの身近でもご夫婦そろって感染している人が何組もいます。

そんな中でも令和5年度は、細部にわたって感染予防をしながら各種の社協イベントが開催されたことはとても喜ばしいことですし、参加された子どもたち、親御さん、高齢者のみなさんはそろって笑顔でお帰りになりました。他人との触れ合いを避けようとする風潮の中でも、やはり地区社協が開催するようなイベントは地域の人々をより身近にしていくための、重要な手段なんだなぁと改めて感じた次第。来年もより多くの参加者となるようなイベントの充実を切に望むジィちゃんでした。(総務部会)